

多様性を尊重し合い、安心とつながりの中で学ぶ環境づくり

- ◎学校・園を核として、地域人材の活用や企業・大学等との協働による体験活動や学習支援等を積極的に推進します。あわせて、連携のコーディネートや好事例の共有を通して、子供の学びが広がり、地域も元気になる持続可能な連携体制の構築を図ります。
- 学校教育全体を通して、互いを認め合い支え合う、「失敗してもやり直せる」安心感のある集団づくりを推進します。
 - ・教育研究所における集団づくりの研究
 - ・学級づくりに関する教職員全体研修会での講演実施
- 子供一人一人の特性を的確に把握し、それぞれの状況に応じた支援の充実を図ります。
 - ・特別支援教育、児童生徒理解、非認知能力育成、インクルーシブ教育についての研修会の実施
 - ・日本語教室、通級教室の巡回指導についての研究
- 子供たちが自立し、また多様な人々と共生できる力を育む授業づくりを推進します。そのため、子供の思いや願いを大切にしたきめ細かな支援の充実を図ります。
- 生徒にとって持続可能な活動環境を確保するとともに、地域全体で子供を育てる体制づくりを進めるため、中学校部活動の地域展開を一層推進します。
- 玉村町の英語教育で育んだ力を生かし、多文化共生社会において主体的に行動できる人材を育成するため、アメリカ・エレンズバーグへの中学生海外派遣事業を実施します。



県立女子大学職員・学生との
英語授業

個のニーズに応じた教育支援

- ◎多様な子供たちが様々な人との関わりを通して共に成長できる、インクルーシブな教育環境の構築を推進します。
 - ・町費負担教職員の効果的な配置(たまむらプラン、ALT、補助員、介助員、校内教育支援センター支援員、SC、SSW、SSS、日本語教室指導補助員、ICT 支援員、玉村町教育支援センター「ふれあい」支援員・相談員、幼児通級支援員 等)
- 子供一人一人の心身の状態を把握し、学校生活での十分な支援につなげます。
 - ・就学時健診の効果的な実施
 - ・きめ細かい実態把握に基づく就学相談の実施

子供と教職員がともに成長できる 動きがいのある学校づくり

- ◎子供が笑顔で成長できるよう、教職員がやりがいと安心感をもって生き生きと働くことができる学校づくりを推進します。
- 様々な専門性や視点を生かしながら子供の成長を支えるため、教職員の協働によるチーム体制の充実を図ります。
- 教職員が子供と向き合う時間を十分に確保できる環境を整えるため、業務の適正化及び効率化を推進します。
 - ・「業務量管理・健康確保措置実施計画」による教職員のワークライフバランスと心身の健康の確保



子供と教職員の関わり

快適に学べる環境の整備

- ◎安全で快適な学校環境を実現します。
 - ・「玉村町学校施設等個別長寿命化計画」に基づいた施設管理
 - ・小学校トイレの洋式化・乾式化の推進
- 第2期GIGAスクール構想に基づき、子供たちが多様な他者や情報とこれまで以上にスムーズにつながることを目指します。
 - ・小中学校のネットワーク環境の課題把握と通信ネットワーク速度の改善
- 変化する子供の数や施設の状況に応じて最適な学習環境を整備します。
 - ・水泳授業における民間施設利用の推進
 - ・中央小のプレハブ教室増築計画の開始



改修されたトイレ